

平成30年1月15日
 東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題	出雲市アグリビジネススクール平成30年開講式を開催 ～新しい受講生27名を迎えて～
------------	--

(ダイジェスト)

出雲市農業再生協議会（担い手部会）は、平成30年1月12日、「出雲市アグリビジネススクール」の平成29年修了式・平成30年開講式を開催しました。

平成29年は、32名が修了し、平成30年には新たに27名の受講生が同スクールを受講します。

普及部としては、受講生が担い手となるように、再生協議会と連携しながら支援していきます。

「出雲市アグリビジネススクール」は、新規就農、定年帰農を目指す人を対象に出雲市の特産物を中心に5講座（産直野菜・柿・ぶどう・いちじく・菊）で構成され、1月から12月までそれぞれ講義と研修ほ場での栽培技術を習得するものです。ビジネス感覚も身につけてほしいことからこの名称となっています。

講師は、JAしまね出雲各生産部会の協力を得て、農業普及部職員を中心に認定農業者やJA営農相談員、農業技術センターの職員が務めています。

同スクールは、平成18年から始まり、これまで339名が受講し、79名の新規就農者が巣立っています。

当日は、ぶどう講座で修了した女性が、「1年間と短い期間であったが、栽培から販売まで学ぶことができた。2月から就農するが今は、期待と不安で一杯です」と感謝を述べられました。

一方、これから受講する柿講座の男性は、「一年間を通して色々なことを学びたい」と抱負を述べられました。

また、野口出雲市副市長、鎌田県出雲事務所長、吉田JAしまね出雲地区副本部長から「しっかり学んでほしい」旨の励ましの言葉もありました。

修了生、新規受講生それぞれ、感謝と期待が膨らむ式となりました。

担い手の確保・育成は本県にとっても重要な課題であり、出雲農業普及部としても有意義な受講となるよう、内容や手法を工夫しながら出雲市農業再生協議会（担い手部会）と連携した取り組みを進めていきます。



《アグリビジネススクール開講式》